保証書付

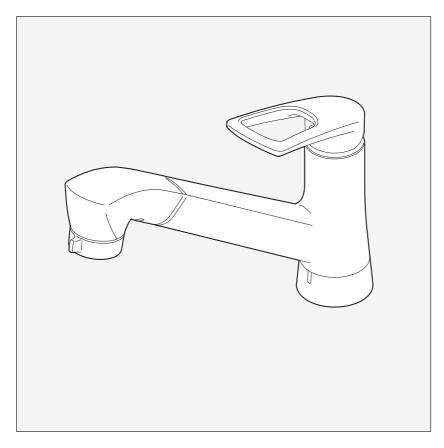
シングル混合栓(タッチ式)

EK87121E型

※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、制御ユニット右下に貼付のシールをご確認ください。 (P30 保証とアフターサービス参照)

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



— お客様へ —

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず 保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

- 工事店様へ -

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、 本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について
各部の名称・寸法図1~2
施工について
施工に関する安全上のご注意・・・・3~4
適切な使用条件・・・・・・・5
施工前のご注意・・・・・・・・5
梱包明細・・・・・・・・・・・・・・・・6
施工手順7~15
で使用について
ご使用に関する安全上のご注意・・16~20
使い方21~23
凍結予防 · · · · · · 23
日頃のお手入れ
汚れの拭き取り24
タッチ検出部の掃除 ・・・・・・・ 24
ストレーナ・吐水口の掃除 25
定期的な点検 ・ 部品交換
可動部分の点検25
配管周りの水漏れ・器具の
ガタツキ・ホコリの除去・・・・・・ 25
レバーのガタツキ・・・・・・26
シャワーホース・逆止弁の交換時期・・ 26
こんなときは
停電時の措置26
故障? その前に 27~28
本製品の構造29
その他

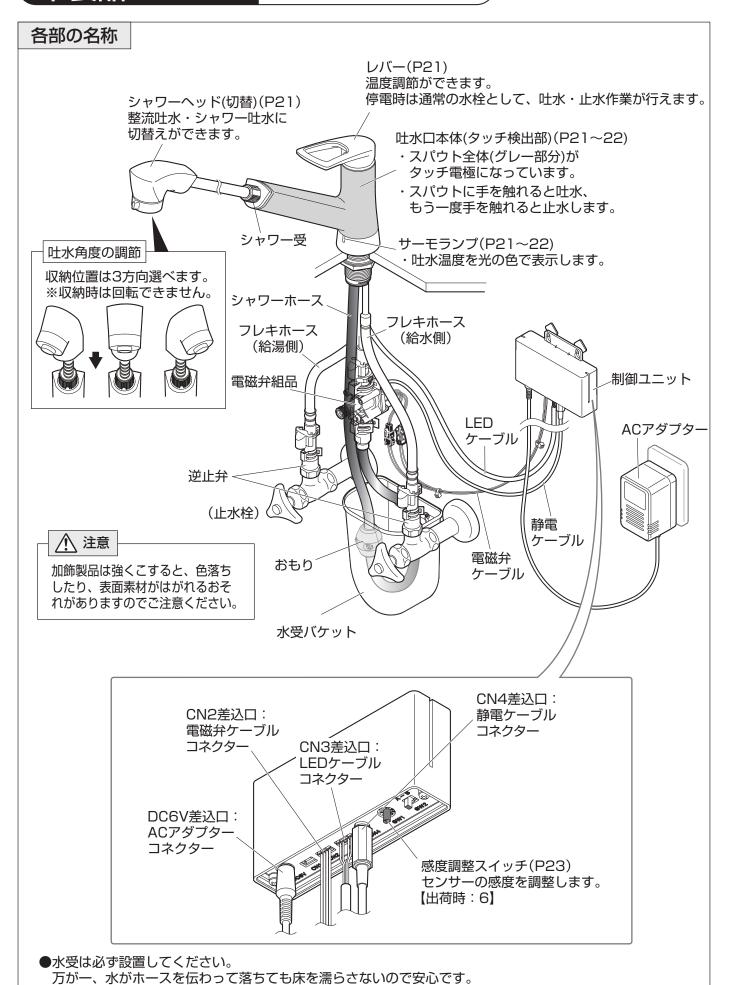
29

仕様 …

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス ・・・・・・ 30

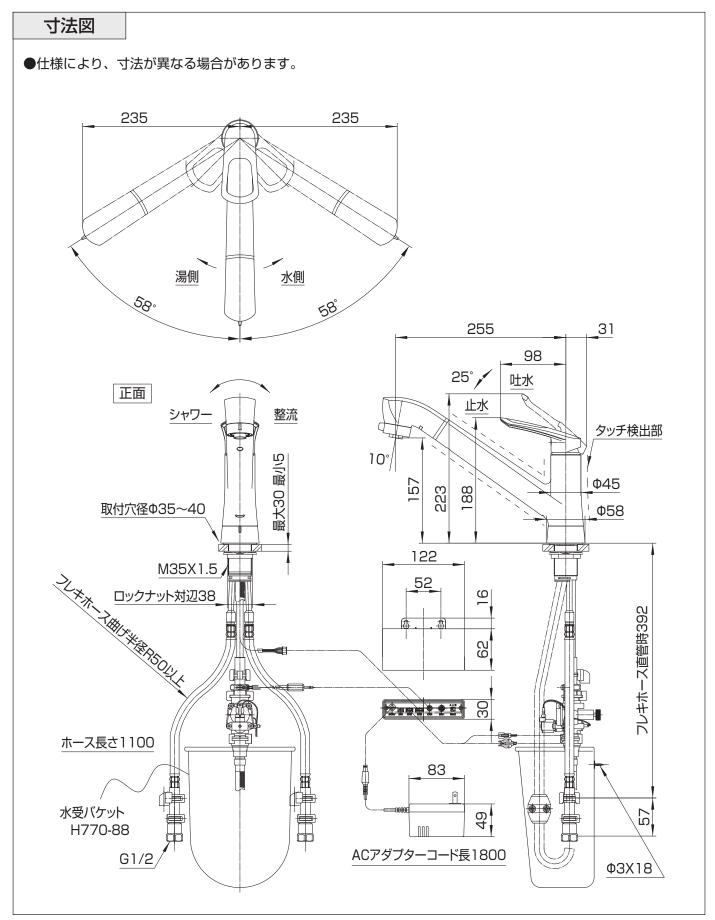
本製品について各部の名称・寸法図



●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

●タッチ検出部

- ・スパウトに手を触れると、水の出し止めができます。 ・出しっぱなし防止のため、吐水から5分間続くと、自動的に止水します。 再びスパウトに手を触れると再吐水できます。



|施工に関する安全上のご注意

- ●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ▶施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、 お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

一巻 -----「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

▶ → 一貫 ······「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事 が想定されます。

……「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、 記載事項を守ってください。)

「してはいけません!**」** 「濡れた手で触れては (一般的な禁止記号です。) いけません!

「水や液体をかけたり、 「分解してはいけません!」

浸けてはいけません!」

「指示した場所に触れては いけません!」

「指示通りにしなさい!」

(一般的な行動指示記号です。)

「バスルームやシャワールームなどの水場で 使用してはいけません!」



電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。

電気回路容量不足や工事不備があると、火災や感電の原因になります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 故障や感電の原因になります。

同梱の部品以外は使用しないでください。

故障や水漏れの原因になります。

湯水は逆に配管しないでください。

正常に作動しないため、やけどをすることがあります。

電源は交流100V以外は使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

漏電のおそれがある場合は、漏電保護プラグ(別売)を使用してください。 火災や感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。 火災の原因になります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。







⚠警告



ケーブルを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。 故障や感電の原因になります。



ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。 火災や感電の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。

火災や感電、故障の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。 感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。 火災や感電の原因になります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。

湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意



屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。

凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



凍結のおそれがある場合は、配管部などに保温材を巻くなどして凍結を予防 してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や水漏れの原因になります。



インバータを用いた他の機器により、誤作動することがあります。 それぞれ離して施工してください。

誤作動の原因になります。



水受バケットは必ず設置し、水受バケットの中にシャワーホースを入れて ください。

使用中に水がシャワーホースを伝って漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)	
	0.05MPa	0.75MPa	

- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- ●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- ●給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度 60℃以下	使用最高温度	60℃以下
----------------	--------	-------

- ●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、50~60℃給湯をおすすめします。
- ●給湯に蒸気を使用しないでください。
- ●シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。 四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- ●本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側であげていると少量の水が出ますが、 これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

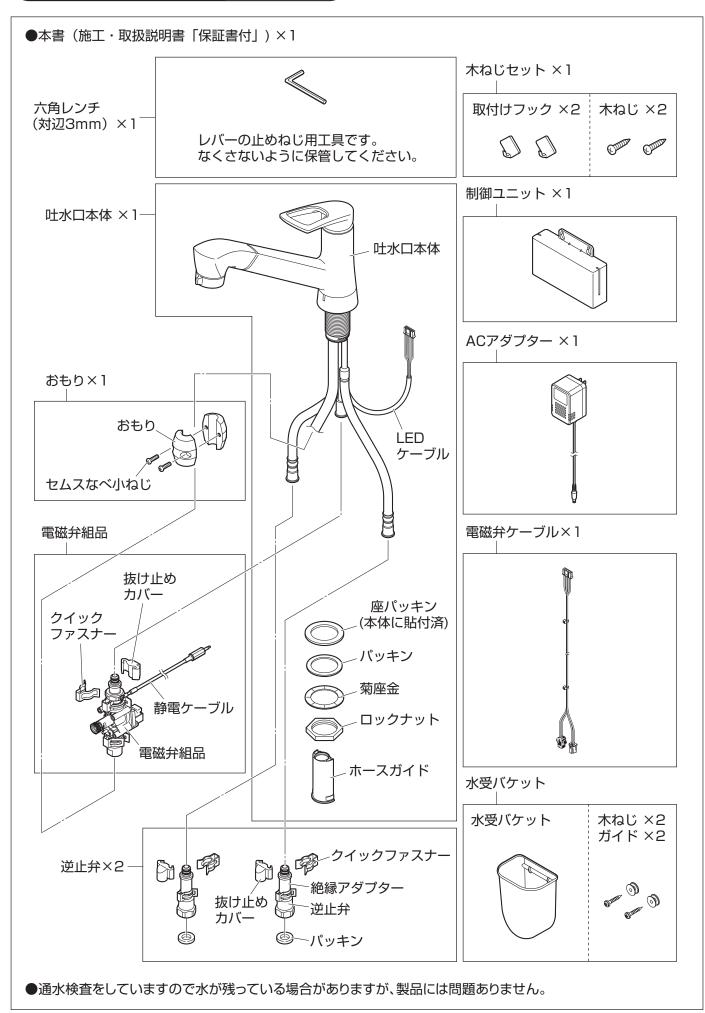
施工について施工前のご注意



加飾製品は塗装がはがれやすいため、必ず柔らかい布などで製品表面を保護して作業を行ってください。

- ●給水は、上水道に接続してください。
- ●取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- ●止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- ●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください**。

施工について 梱包明細



施工について施工手順

主な工具類

- ナット締付工具 : -

水栓取付足のロックナットをまわす時に使用します。

■ 古い水栓を取りはずす場合

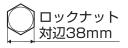
使用する工具の例

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。



■ 本製品を取付ける場合

ナット締付工具 SANEI品番: PR357 🗷



※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。 左記寸法とは異なる場合が

■ 手袋:

ケガ防止のため に着用してくだ さい。



■ ぞうきんなど:

配管中の残り水 を拭くのに使用 します。



■ スパナ・モンキーレンチ

など:

水栓のナット が回せる工具。

あります。



■ 使い古しのハブラシ ■ タオ

など:

取付穴周囲などの 掃除ができるもの。 /



■ タオルなど:

ケガ防止や水栓 保護のために使 用します。



止水栓がドライバー式の場合に 必要な工具

■ マイナス ドライバー



1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、



必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉はP28を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

2 吐水口本体を取付けます。

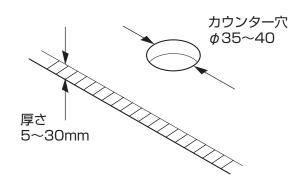
注意

ケーブル接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。

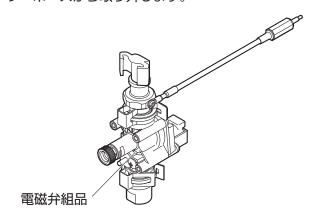
(1) カウンター穴の寸法を確認してください。

注意

カウンターに厚みのない場合や、 取付面が弱い場合は補強材などを 設けてください。

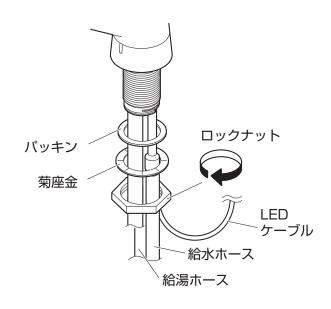


(2) 電磁弁組品をシャワーホースから取り外します。

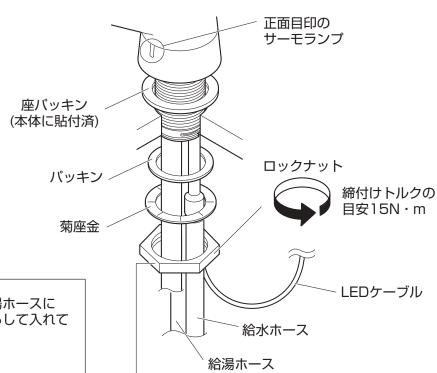




(3) 本体からロックナット・菊座金・パッキンをはずします。

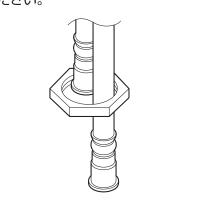


- (4) 取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。
 - ※ 本体下部のサーモランプが正面の目印になります。



アドバイス

ロックナットを給水・給湯ホースに 入れる際は、ホースをずらして入れて ください。



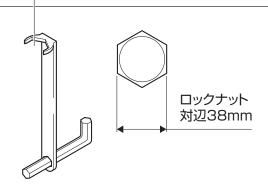
注意 注意

- ●取付時にレバーや吐水口本体など 可動部分を持たないでください。 破損のおそれがあります。

ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●パッキンが入っていることを確認 してください。 パッキンが入っていないと水漏れ

のおそれがあります。

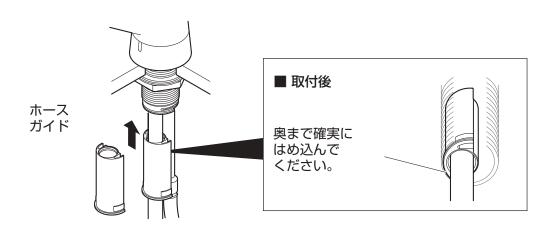


ナット締付工具 SANEI品番: PR357

注意

ホースガイドの抜け注意

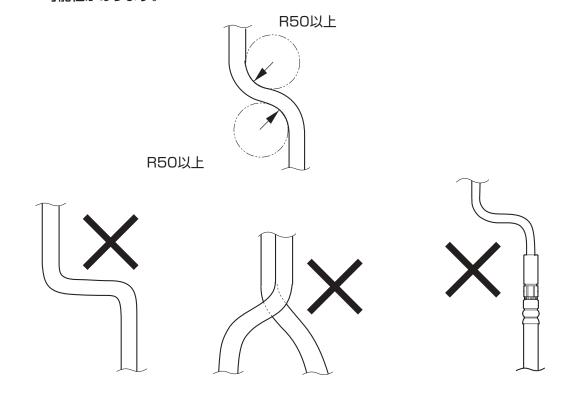
施工時にホースガイドが抜けている場合は、本体足部にはめ込んでください。 シャワーヘッドがスムーズに引き出せない事があります。



注意 注意

銅管・ホース施工上の注意点

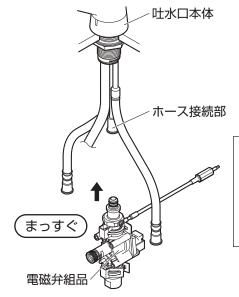
- ※下記注意事項は必ず守ってください。
 - 銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
 - 銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。
 - ●銅管部分は曲げないでください。
 - ●ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
 - ●ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
 - ●ホース同士の不要な接触は避けてください。摩耗による外傷でホースの性能劣化の 可能性があります。



3 電磁弁組品を吐水口本体に接続します。

電磁弁組品のクイックファスナー、抜け止めカバーを取りはずし、吐水口本体に取付けてください。

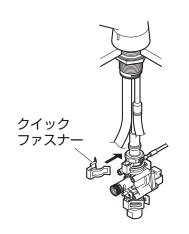
(1) 電磁弁組品とホース接続部のツバ部はすき間なく合うまで差し込んでください。

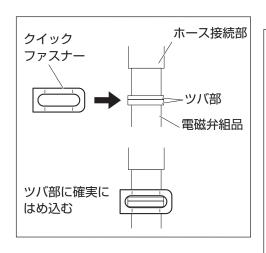


注意

- ●電磁弁組品のオーリングの傷・ゴミかみに注意してください。
- ●抜け止めカバーはクイックファスナー接続の際に必要なので、 なくさないようにしてください。
- ●電磁弁組品は吐水口本体にまっすぐ取付けてください。 オーリングが破損し、水漏れの原因になります。

(2) クイックファスナーを電磁弁組品とホース接続部のツバ部に確実にはめ込んでください。

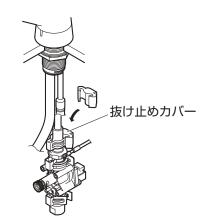


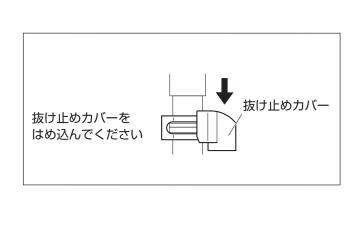


注意

- ●ねじ部やツバ部の凹凸で 手を切らないように注意 してください。
- ●クイックファスナーは、 ケガのないよう取扱いに 注意してください。
- ●クイックファスナーは、 広げないでください。
- ●固定後、電磁弁組品を 下向きに引っ張って抜け ない事を確認してください。
- ●ケーブルを引っ張らないで ください。

(3) クイックファスナーに抜け止めカバーを取付けてください。



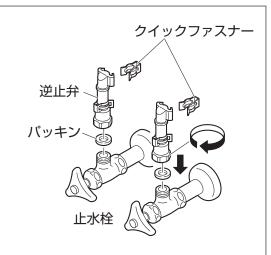


4 逆止弁を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保 を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。

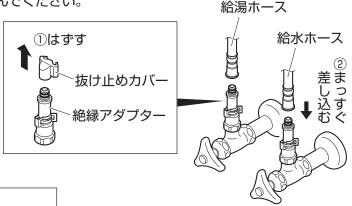
注意

- ●パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- ●緩みがないように確実に締めてください。 確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。



5 逆止弁と給水・給湯ホースを接続します。

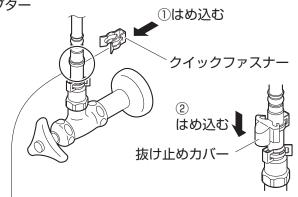
(1) 逆止弁上部の絶縁アダプターに付いている抜け止め カバーをはずし、給水・給湯ホースと絶縁アダプター のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。



<u>/</u> 注意

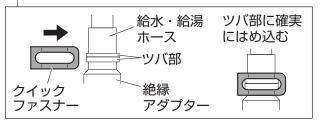
- ●逆止弁と絶縁アダプターを接続している クイックファスナーははずさないでください。
- ●絶縁アダプターのオーリングの傷、ゴミかみ に注意してください。
- ●抜け止めカバーは、クイックファスナー接続 の際に必要なので、なくさないようにしてく ださい。

(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと絶縁アダプター のツバ部に確実にはめ込んでください。 次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実 にはめ込んでください。



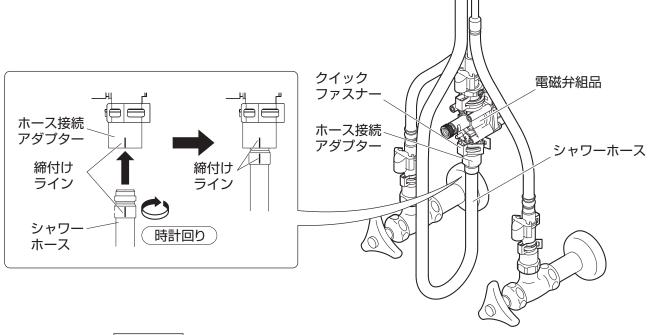
注意 注意

- ●クイックファスナーは、ケガのないよう取り 扱いに注意してください。
- ●クイックファスナーは、広げないでください。
- ●給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜け ないことを確認してください。



6 シャワーホースを接続します。

(1) シャワーホースを電磁弁組品下部のホース接続アダプターに、締付けラインまで時計回りに回しながら取付けてください。



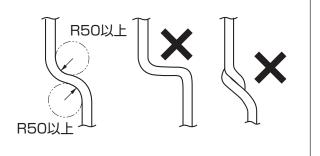
注意 注意

シャワーホースが確実に接続されていることを確認してください。

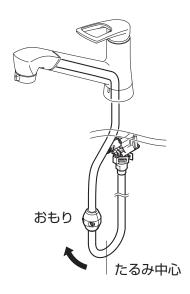
注意

シャワーホース施工上の注意点

- ※下記注意事項は必ず守ってください。 ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる 可能性があります。
- ●シャワーホースを必要以上の力で曲げたり、無理 に引っ張ったりしないでください。
- ●シャワーホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワーホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。



(2) シャワーホースにおもりを取付けてください。



- ●おもりはシャワーヘッドを引き出した時にじゃまにならない 位置に取付けてください。
- ●おもりはシャワーヘッドを収納したとき、たるみ中心より シャワーヘッド側に取付けてください。 シャワーヘッドがスムーズに収納できなくなる場合があります。

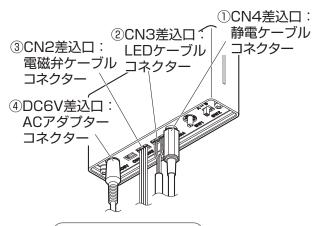
フ ケーブル類を接続します。

(1) 電磁弁ケーブルの黒色・白色コネクターを、電磁弁組品の黒色・白色コネクターにそれぞれ接続してください。

注意

黒色・白色コネクターは、「カチッ」と音がするまで 確実に差し込んでください。

(2) ①静電ケーブル、②LEDケーブル、③電磁弁ケーブル、④ACアダプターの順に それぞれのコネクターの端子を制御ユニットの差込口に奥まで確実に差し込んでください。 コンセントに⑤ACアダプターを根元まで確実に差し込んでください。



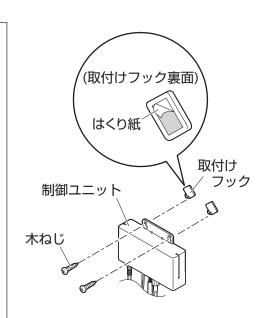


奥まで確実に差し込む

(3) 制御ユニットを取付けフック(2個)または木ねじ(2本)で、適切な位置に取付けてください。

/ 注意

- ●万が一止水栓から漏水した場合でもぬれないように、 ケーブル類は止水栓よりも高い位置になるようにして ください。
- ●ケーブル類が扉や引き出しなどに挟まらないように注意 してください。
 - ケーブル類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時に ケーブルが挟まり、ケーブルの断線や故障の原因となり ます。
- ●湯側止水栓やその周辺には、ケーブル類が触れないように注意してください。
 - 給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。
- ●取付けフックを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれい に拭き取ってください。
 - 汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原 因になります。
- ●取付けフックは、何度も取りはずさないでください。 取付面の強度が落ち、落下の原因になります。



8 水受バケットを設置します。

注意

- ●水受バケットの中にシャワーホースが入っているか確認をしてください。
- ●電磁弁組品やケーブル類が水受バケットの中に入らないようにしてください。

9 施工後、下記項目を点検してください。

- 各部にガタツキがないことを確認する。
- ・止水栓を全開にして、各部に水漏れがないことを確認する。
- ・レバーを上げて、吐水口本体に手を触れて、正常に作動することを確認する。
- ・吐水・止水を行い、各部に水漏れがないことを確認する。
- ・吐水・止水を行い、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことを確認する。

吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、下記の手順で電磁弁組品のエアー抜きを実施してください。

電磁弁組品

ボタツキがないこと

正常に作動すること

* 注意

1秒以上手を触れると吐水しません。

※ 正常に作動しない場合は、コネクターが

【電磁弁組品のエアー抜き手順】

① 電磁弁組品の栓棒を時計回りに回転させます。 (当たりまで)

確実に接続されているか確認してください。 ※ 水栓取付台下の金属部に接触しているものが

ある場合は、接触しているものを移動してください。

- ② 30秒程度連続吐水させます。 ※止水栓が開いていれば、タッチ操作をしなくても 吐水します。
- ③ 電磁弁組品の栓棒を反時計回りに回転させます。 (当たりまで)
- ④ 手順①~③を3回繰り返します。
- ⑤ 吐水口本体に手を触れて、吐水および止水させ、 吐水の乱れや弁鳴り (チャタリング)が無いことが 確認できれば完了です。

【感度チェックと修正方法】

吐水口本体に手を触れて反応しにくいと感じた場合は、制御ユニットのSW1で、ダイヤルの数値を調整してください。

出荷時は「6」に設定されています。 感度 0(弱)~9(強) 栓棒

①時計回り

③反時計回り

SW2はA側に設定されていることをご確認ください。参照:P23

【こつし】 ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

🎥 🚝 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

が想定されます。」

……「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、 記載事項を守ってください。)



「してはいけません!」 (一般的な禁止記号です。)



「濡れた手で触れては いけません!」



「指示通りにしなさい! | (一般的な行動指示記号です。)



「分解してはいけません!」



「水や液体をかけたり、 浸けてはいけません!」



「電源プラグをコンセントから 抜きなさい!」



「指示した場所に触れては いけません!し



「バスルームやシャワールームなどの水場で 使用してはいけません!|



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。 やけど・けがをするおそれがあります。





本製品は、日本国内の台所用です。 それ以外の条件下では使用しないでください。

ACアダプターおよびケーブル類が破損するような ことをしないでください。

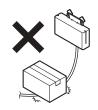


【してはいけない例】

- ●傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる
- ●引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

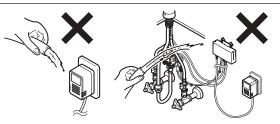






ACアダプターや制御ユニット・電磁弁組品・ ケーブル類に水や洗剤、汚水をかけないで ください。

火災や感電の原因になります。





ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。 火災や感電の原因になります。





ガタついているコンセントは使用しないでください。 火災や感電の原因になります。





指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。 火災の原因になります。





コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。 火災の原因になります。



⚠警告



電源ケーブルの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。 火災や感電の原因になります。





ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。 感電の原因になります。





ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。



火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

火災や感電の原因になります。





雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。 感電の原因になります。





ACアダプターについたホコリは、取除いてください。

ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、 火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。





浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。

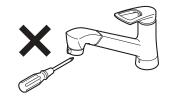


●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 火災や感電の原因になります。



●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。





給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50~60℃給湯をおすすめします。





シャワーには高温の湯(60℃より高温)を通さないでください。

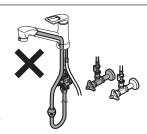
給湯温度が60℃より高温の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。 シャワーヘッドが破損し、やけどをするおそれがあります。 安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



●湯側配管に、直接肌を触れないでください。 高温になっており、やけどをするおそれがあります。

●高温の湯をお使いのときは、電磁弁組品周辺や シャワーホースに直接肌を触れないでください。

シャワーホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。



⚠警告

0

レバーの温度位置を確かめて吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。





他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。

やけどのおそれがあります。



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。





高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。

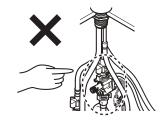
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。





取付台下側の製品部に触れたり、物を接触させないでください。

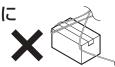
正常に動作しないおそれがあります。思いがけない吐水により、やけどや、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



0

収納物などを収納する際は、ケーブル類に引っ掛からないように 注意してください。

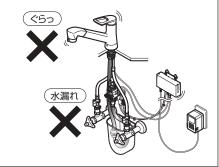
ケーブルが断線し、感電・故障の原因となります。





定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。





ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。

湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意



使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。

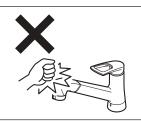
しばらく使われないと、ホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまい、におうことがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる 故障や漏水の原因になります。



⚠注意



(樹脂メッキ付部品の場合)

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。

万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

- ・シャワーヘッド
- ・吐水口本体など



レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを 濡らす財産損害発生のおそれがあります。







吐水口本体に手を触れるときには静電気にご注意ください。 誤作動、故障の原因となります。





使用する時は、吐水口をふさがないでください。

シンク下への漏水の原因になります。



(吐水口先端に浄水器などを取付ける場合)

止水機構を持った浄水器などは、取付けないでください。



吐水口本体先端やレバーに重いものを下げたり、力をかけて回したりしない でください。

摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。また、力をかけて回すと部品などが破損し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーヘッドをシャワー受に収めた状態でシャワーヘッドを回さないでください。 シャワーヘッドがはずれ、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。

シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホースやシャワー受に水をかけないでください。

水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 水受は必ず設置してください。





レバ一部に水をかけないでください。

レバー部より洗剤などが浸入すると、レバー動作が重たくなるおそれが あります。布などを使って拭き上げてください。





水を含んだスポンジや雑巾で清掃しないでください。

誤作動の原因になります。



濡れたタオルを掛けるなど、吐水口本体に物が触れたままの状態にしないでください。

誤作動の原因となります。



! 注意



シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースをつけないでください。

汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財など を濡らす財産損害発生のおそれがあります。 水受は必ず設置してください。



凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。 (「凍結予防」P23参照) ^{窓を閉める}

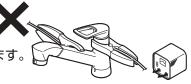
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならな へいようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。





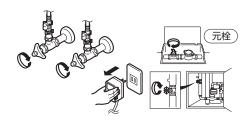
解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります





長期間使用しない時は、止水栓または配管部の 元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。 誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。





日頃から、ときどき吐水口本体、レバーを動かして ください。

長期間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、無理に動かそうと すると、故障や漏水の原因になります。



で使用について使い方

レバーを上げてください。

手を吐水口本体のタッチ検出部(グレー部分)に 触れると水が出ます

- ●再度手を触れると、止まります。
- ●触れ続けていると動作しません。



シャワーヘッド(切替)で整流吐水・シャワー吐水に切替えができます。

■整流吐水切替レバーを右にまわす。

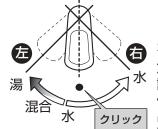
■シャワー吐水 切替レバーを左にまわす。



温度を調節できます

レバーを

クリックより右にまわす → 水 クリックより左にまわす → 次第に温度が上がる

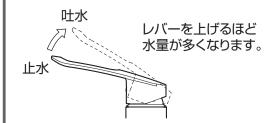


エコになるしくみ

左記位置にクリックを 設けることで、中央 位置で上げた際に湯が 出たり、給湯器が着火 するのを防ぎます。

流量を調節できます

レバーを上げる **→** 吐水 レバーを下げる **→** 止水



- ※吐水中に音がする場合は、止水栓をしぼって 水量を調節してください。
- ■温度調節が難しいとき

温度調節が難しいときは、次の方法で調整しやすくなることがあります。

- ●給湯温度を下げる
- ●水側の止水栓をしぼる

水は、約5分たつと、自動で 止まります

(出しっぱなしを防ぐため)



→再度手を触れると、また水が 出ます。

給湯機の給湯温度設定

50~60℃をおすすめします。

(誤操作などによる、 やけど防止のため)



- ●設定温度が低いと、温度調整が うまくできないおそれがあります。 (給湯機の設定温度が優先される ため)
- ●レバーを回しても高温の水が 出ないときは、給湯機の給湯温度 設定をご確認ください。
- ■瞬間式給湯機が着火しない とき

水温の高い夏場は、 着火しない場合が あります。

→給湯機の温度設定を下げてください。



/ 注意

止水後、シャワーヘッドから水滴 がしばらく落ちる事がありますが、 シャワーヘッド内の残留水です。 異常ではありません。いつもポタ ポタ出ているのはレバーの閉め 方がゆるいか水栓のバルブ開閉 ユニットが故障しているかのどち らかです。しかし、使用直後の-定時間だけの現象であれば閉め 方、摩耗や故障ではありません。 シャワーヘッド内の水はシャワー 散水板の表面張力により滞留し ています。振動などによる気圧 の変化などにより表面張力が弱 くなり、ポタポタと流れ出ること があります。

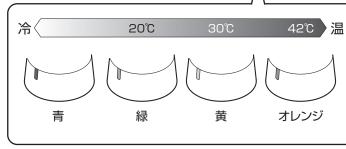


サーモランプの光り方

吐水中



点灯(吐水温度に応じた色)

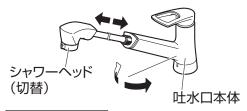




※1 水を約5分出し続けると、自動で止まります。(P21)

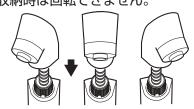
シャワーと吐水口について

- ●吐水口本体は左右に動きます。
- ●シャワーヘッド(切替)は引き出せます。



吐水角度の調節

収納位置は3方向選べます。 ※収納時は回転できません。



収納時、シャワーヘッドを傾けて使用する場合は、水の量を絞ってご使用ください。 (10L/min 以下を目安)

吐水口本体が自然に動き、吐水時の水がシンクの外にこぼれるおそれがあります。

収納性(●シャワー 場合がる

注意 注意

- ●カウンター下などに収納物などを置いている場合は、シャワーホースがあたらない位置に移動してください。シャワーホースにあたると収納性に影響を与える場合があります。
- ●シャワーホースが止まる程度まで引き出すとスムーズに戻らない 場合があります。ご注意ください。

●ホースを引き出した際にホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納してください。

シャワ

ホース

■水受けバケットの中にシャワーホースが入っていることを確認してください。万が一、水がシャワーホースを行る

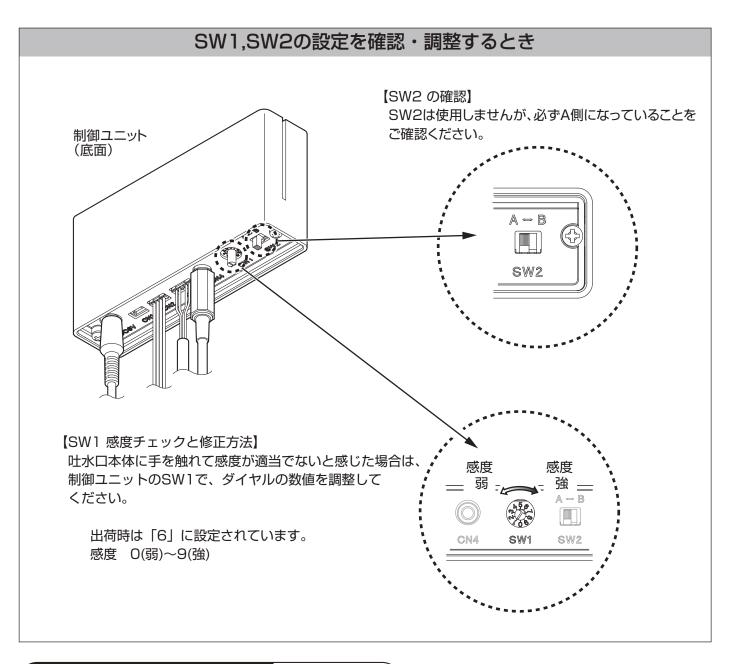
万が一、水がシャワーホースを伝わって落ちた場合、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

収納物などはじゃ まにならない位置 へ移動 収納物

ホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納

∼水受 バケット

使用後はレバーを閉じてください。



で使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ●配管部などに保温材を巻いてください。
- ●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。 快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

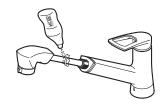
- ●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- ●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

| 注意

- ●中性洗剤以外は使用しないでください。
- ●お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど製品の割れや変色変質の原因となります。
- ●レバー部に水をかけないでください。 レバーより洗剤などが浸入すると、レバー動作が重たくなるおそれがあります。 布などを使って拭き上げてください。



アルカリ洗剤でホースを洗わないでください。 ホースの劣化の原因となります。





洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐに きれいに拭き取ってください。 製品の割れや変色変質の原因となります。





加飾製品は強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれが ありますので、ご注意ください。

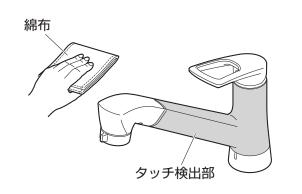
日頃のお手入れ タッチ検出部の掃除

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- **2** 水またはぬるま湯に浸し固くしぼった 綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。



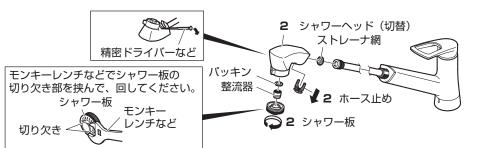
水を含んだスポンジや雑巾で清掃しないでください。

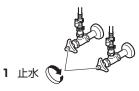


日頃のお手入れ、ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。 快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、 長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 シャワーホース接続部・シャワー板をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。







注意 注意

- ●シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。
- ●ホース止めを取外す際は溝幅より細いドライバーを使用してください。
- ●シャワー板を取付ける際はパッキンがずれない様にご注意ください。 パッキンがずれると切替不良になるおそれがあります。
- ●パッキン、オーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- ●シャワー板を取付ける際は、部品の順番を間違えないように注意してください。

再使用時

- ●はずした部品が確実に閉まっているか 確認してください。
- ●止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと 吐水状態の確認を行ってください。 参照:P15

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。 放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。 可動部の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口本体・レバーを動かしてください。 (月1回を目安)





定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安) 定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、AC アダプターについたホコリを取除いてください。(月 1 回を目安) AC アダプターの端子にホコリなどがたまると、

湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

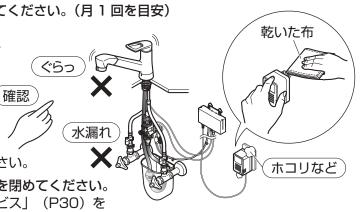
AC アダプターを抜き、乾いた布でホコリを 取除いてください。

シャワーホースやその下が濡れていないか確認してください。

水受バケットに水がたまっていないか確認して ください。(月 1 回を目安)

水がたまっている場合は、水を捨てて掃除してください。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。 修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を 参照してください。



定期的な点検 レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

1 精密ドライバーなどでキャップを押し出します。

· ポイント)—

レバーを下げ、精密ドライバーなどでキャップを押し出してください。

注意 注意

- ●水栓本体に傷が付かないようご注意ください。
- ●作業時にケガをしないようご注意ください。



- 2 キャップが少し出たら、手でキャップをつまんではずします。
- 3 止めねじを六角レンチで増し締めします。

<u>注</u>意

取付ける際は、キャップ の色が右(青)左(赤) になっているか確認して ください。



六角レンチ(付属品) (対辺3mm)×1 六角レンチは、 なくさないように 保管してください。



以上の処置をされても不具合がなくならない場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、 修理をご依頼ください。

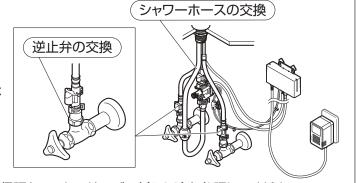
定期的な部品交換シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安:5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安:3~5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては 水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

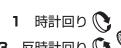


- ※交換時期は、使用環境などにより異なります。
- ※シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。
- ※シャワーホースの交換を依頼される場合は、「本製品の構造」(P29)も併せてご確認ください。

こんなときは「停電時の措置

停電した場合は、下記の措置を行ってください。

- 1 電磁弁組品の栓棒を時計回りに、当たりまで回転させます。(強制開放)
- 2 レバー操作で吐止水を行ってください。
- **3** 停電から復旧したら電磁弁組品の栓棒を反時計回りに当たりまで回転させます。







こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。	
吐水しない	
 ◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 ◇ ケーブル類は確実に接続されていますか。 ◇ 止水栓は開いていますか。 ◇ 停電中ではありませんか。 ◇ 断水中ではありませんか。 ◇ ストレーナ・吐水口のゴミづまりはありませんか。 ◇ タッチ検出部の表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 ◇ スイッチの設定が変わっていませんか。 ◇ 1秒以上触れていませんか。 ◇ 水栓取付台下の製品部に何か接触していませんか。 	→ [A] → [B] → [C] → [D] → [E] → [F] → [G] → [H] → [H] → [M]
水 (湯) が止まらない	
◇ タッチ検出部の表面が汚れていたり、水滴が泡が付着していませんか。◇ スイッチの設定が変わっていませんか。◇ 1秒以上触れていませんか。◇ 電磁弁組品の栓棒が開いていませんか。	→ [G] → [H] → [] → []
流量が少ない	
◇ 止水栓は十分に開いていますか。◇ ストレーナ・吐水口のゴミづまりはありませんか。	→ [C] → [F]
高温しか出ない	
◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。◇ 水側のストレーナのゴミづまりはありませんか。◇ レバーの位置は合っていますか。	→ [C] → [F] → [K]
低温しか出ない	
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。◇ 湯側のストレーナのゴミづまりはありませんか。◇ レバーの位置は合っていますか。	→ [L] → [C] → [F] → [K]
温度調節がうまくできない	
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。◇ ストレーナのゴミづまりはありませんか。◇ レバーの位置は合っていますか。	→ [L] → [C] → [F] → [K]
水 (湯) が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)	
◇ タッチ検出部の表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。◇ 水栓取付台下の製品部に何か接触していませんか。◇ インバータを用いた他の危機を近くで使用していませんか。	→ [G] → [M] → [N]
水が出る時、または水が止まるときにドドドッと水が震える	
◇ 電磁弁組品が震えていませんか。	→ [0]
吐水中の温度表示が白色点滅している	
◇ 電磁弁ケーブル(白色コネクター)が正しく接続されていますか。	→ [P]

[A]	ACアダプターを確実に差し込んでください。	参照:P17
[B]	ケーブル類を確実に差し込んでください。	参照:P14
[C]	止水栓を十分に開いてください。	参照:P15
[D]	停電時の措置を行ってください。	参照:P26
(E)	レバーを閉めて、復旧するまで待機してください。	
[F]	ストレーナ・吐水口の掃除をしてください。	参照:P25
[G]	タッチ検出部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	参照:P24
[H]	制御ユニットのスイッチの設定を確認・調節してください。 	参照:P23
[1]		参照:P21
[]]	電磁弁組品の栓棒を反時計回りに閉めてください。	参照:P15
[K]	レバーの位置を確認してください。	参照:P21
[L]	給湯機の設定温度・作動を確認してください。	参照:P21
[M]	接触しているものを移動してください。	参照:P18
[N]	誤作動の原因となる機器を取り除いてください。	参照:P4
[0]	栓棒操作(右回転して水を出す・左回転して水を止める)を 2〜3度繰り返して、様子を見てください。	参照:P15
[P]	電磁弁ケーブル(白色コネクター)を確実に差し込んでください。	参照:P14

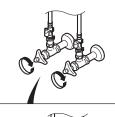
上記の点検を実施されても不具合がなくならない場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

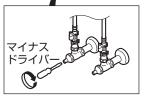
漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に 止水栓がある場合、 ハンドルをまわして 水を止めてください。





元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

- ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※ 一部の地域では左まわしの場合があります。
- ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス: 主に玄関やガレージ付近の地面に あります。古い戸建て住宅の場合 は道路に円形のキー式ボックスが あったりします。

●キー式

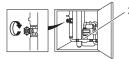






■ マンションなどの中高層住宅の 元栓ボックス:

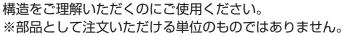
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

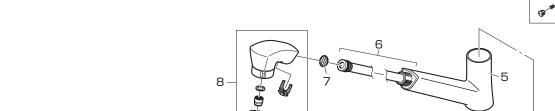


水道メーター (量水器)

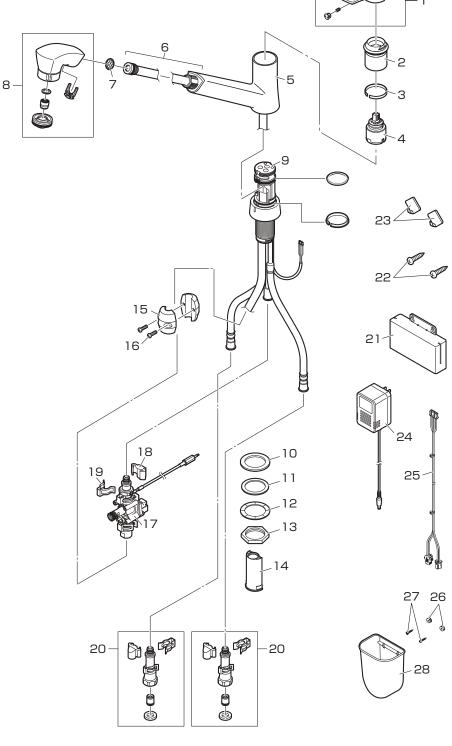
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。





- 1. レバー
- 2. カートリッジカバー
- 3. 割リング
- 4. シングルレバー用カートリッジ
- 5. シャワー受
- 6. スプレーシャワー組品
- 7. ストレーナ
- 8. シャワーヘッド(切替)
- 9. 胴
- 10. 座パッキン
- 11. パッキン
- 12. 菊座金
- 13. ロックナット
- 14. ホースガイド
- 15. おもり
- 16. セムスなべ小ねじ
- 17. 電磁弁組品
- 18. 抜け止めカバー
- 19. クイックファスナー
- 20. 逆止弁セット
- 21. 制御ユニット
- 22. 木ねじ
- 23. 取付けフック
- 24. ACアダプター
- 25. 電磁弁ケーブル
- 26. ガイド
- 27. 木ねじ
- 28. 水受バケット



型式	EK87121E型
電源	AC電源 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時:9.6mW 動作時:最大1074mW
検知時間	0.1秒以上~1秒未満
自動止水機能	吐水してから5分後に、自動的に止水
給水部接続	G1/2

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- ●この製品は保証書の内容に従って保証されています。
 - お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- ●保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- ●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | お客様による日常のお手入れ・点検 買替え

摩 耗 劣 化 部 品 の 交 換 ご検討

日頃のお手入れについてはP24~25、定期的な点検についてはP25~26をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例: シングルカートリッジ・電磁弁・電装部品・逆止弁・シャワーホース など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。 部品の詳細についてはP29を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後 10年です。

(修理の依頼と部品交換の依頼について)

- ●修理依頼と部品交換依頼先:お求めの販売店(工事店)又は当社
- ●連絡していただきたい内容:■住所、氏名、電話番号
 - ■品番、品名
 - ■お買上げ(お取付け)年月日
 - ■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、

部品交換の依頼

- ■訪問希望日
- ●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」・・・・診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」・・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

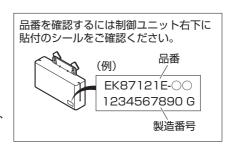
〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。 ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

SANEI株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号 お問い合わせ先 ☎0120-06-9721 受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd



水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書を ご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート 又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

魁

器

斜

8

18

8

8

8

4

6

48

18

4

48

18

48

8

B

8

8

48

8

8

8

8

48

48

48

髩

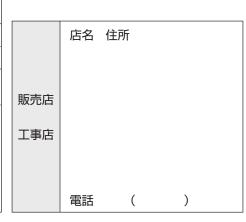
铝

48

8

8

品 番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。				
保証期間	対象部品	期間(お買	足げ日/お取付	け日から)	
	本体 2ヵ年				
お買上げ日 (お取付け日)		年	月	. 日	
お客様	お名前 ご住所	見	本	様_	
	電話	()			



B

掛

13

13

船船船

B

部

13

B

掛

13

13

13

13

B

133

1

13

B

13

13

掛

掛

B

掛

13

133

B

<無料修理規定> ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- 2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1)使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3)お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5)電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6)消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7)施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、 色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理 などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
- ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ			

SANEI株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号 お問い合わせ先 **☎**0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd